

学生生活

お金・時間の余裕が実り多い将来を拓く

一人暮らしでも、私大より経済的。負担が少ない

大学生協提携アパートは本学周辺に約1,000室、月3万円台も多くあります(射水キャンパス周辺)。アパート生の平均年間経費試算合計額は、本学150万円以下。全国平均と比べても安くすみます。自宅生の小遣い平均額は月1万円ほどで、更に経済的余裕が生まれます。

大学周辺は住宅地なので、静かで便利、安全・安心です。(学生)

入学者特待生制度

(富山県内高等学校出身者向け・学部向け)

- 1年次生の入学料と授業料を免除…(免除額:723,800円)
- 成績優秀者は2年次生以降も授業料を免除…(免除額:毎年535,800円又は267,900円)

車通学が可能(工学部・情報工学部)

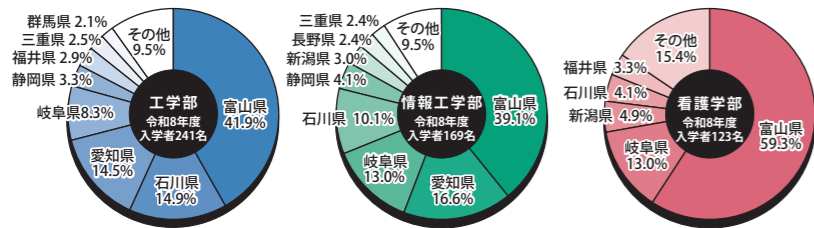
一年生から学生駐車場が利用できます

通学に、余暇活動に、将来を見据えて、時間を有効活用できます。

全国からの仲間と交流できます

学生の出身地域(2026年度入学生)

(注)小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。



工学部・アパート生の年間経費試算 公私比較

	A 富山県立大学	B 東京私大	C 全国平均
授業料	約54万円	約97万円(※3)	
仕送り額	約68万円(※1)	約110万円(※2)	約90万円(※1)
合計	約122万円	約207万円	約187万円

※1 2025年度富山県立大学生協調べ
 ※2 東京私大教連「私立大学新入生の家計負担調査」(2025年度)
 ※3 文部科学省私立大学等の令和7年度入学者に係る学生納付金等調査結果について

サークルは41と多彩 自主活動を応援します!

体育系サークル(17団体)

- サッカー部 ●バドミントン部
- ダンスサークル ●バスケットボールサークル
- 軟式野球部 他

文化系サークル(23団体)

- e-sports部 ●アカペラサークル
- 発明倶楽部 ●軽音楽部 ●天文部 他

その他(1団体)

- 学生会



保護者の皆様へ

富山県立大学 ご案内

CONTENTS

教育

教員の責任指導で
学生を伸ばす

研究

世界を変える先端研究

社会
貢献

世界の先端技術に
挑む共同研究

学生
生活

実り多い大学生活や進学は
お金や時間の余裕から



看護学部のキャンパスです。
最新情報をぜひチェックしてね!

射水キャンパス(工学部・情報工学部)

〒939-0398 富山県射水市黒河5180
 TEL:0766-56-7500(代) FAX:0766-56-6182



小杉駅南口から、徒歩約25分(約2km)
 または射水市コミュニティバス「7.新湊・小杉線」に乗車約6分

富山キャンパス(看護学部)

〒930-0975 富山県富山市西長江2-2-78
 TEL:076-464-5410(代) FAX:076-422-6070



JR富山駅、あいの風とやま鉄道富山駅から、地鉄バス「中央病院行」約20分、または地鉄電車「栄町駅」下車後、徒歩約7分。

社会を変革する大学をめざして



国際性とチャレンジ精神を身につけよう

小笠原 司 学長

前 奈良先端科学技術大学院大学理事・副学長、前 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科教授。専門は知能ロボティクス。

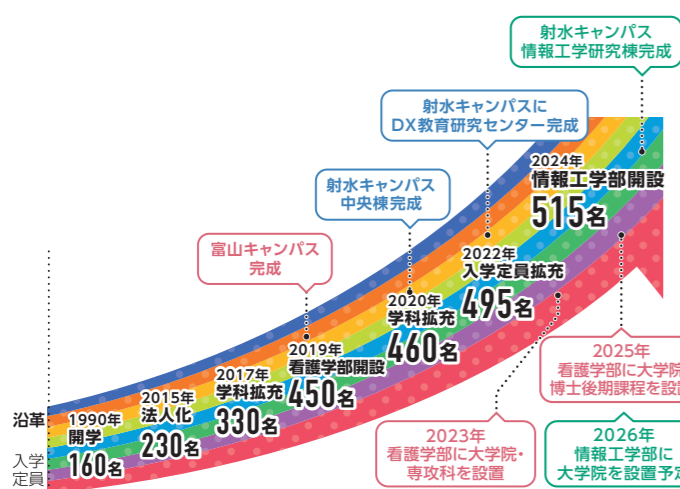
現代社会では、地域や国際社会の課題を解決できる人材が求められています。大学ではそのための基礎知識の習得とともに具体的な課題に教員と一緒に取り組みます。その経験を通して、課題発見力、課題解決力、ならびに、行動力を培うことが大切です。積極的にチャレンジしてください。本学はそのための教育・研究の環境を整備し、皆さんを支援します。

教育

「学生を大事にする大学」

進化・成長を続ける大学で成長しよう

本学は、設立当初からの志と先見の明のもと、学生を大事にする教育や先端研究を確立、高い成果をあげ、成長してきました。社会からの高い評価のもとに、工学部の学科や定員、教員数をいっそう拡充し、看護学部、情報工学部の新設とともに、施設を充実しました。成長する大学で、ともに成長しましょう。



手厚いキャリア支援で就職に強い！

工学部、看護学部ともに就職率は毎年ほぼ100%と、全国でもトップクラスです。

キャリアセンターでは、各学部のニーズに応じて、きめ細やかな就職支援・進学支援を早期から行うなど、学生が着実に自分の目指す道に進んでいけるように手厚く支援を行っています。

工学部生、情報工学部生へは、キャリア形成論の授業を計画・実施しているほか、看護学部生へは県内で活躍する若手看護職者との交流会を開催する等、様々なサポートを行っています。

徹底した少人数教育で、教師との距離が近い

工学部、情報工学部、看護学部ともに1年次から少人数ゼミを実施しています。1・2年次には、少人数形式のグループワークなどを行い、コミュニケーション能力、情報活用力、問題解決能力などの力を養います。また、教員一人当たりの学生数が少人数であることにより、教員との距離が近いと感じる学生が多いことも特色の一つです。学生からは、「授業で分からないことがあった時は気軽に質問できる。」「研究のこと以外でも気軽に相談できる。」などの声が寄せられています。

工学部

「工学心」を持った人材を育成します

1. 少人数によるゆきとどいた教育

少人数教育を中心に、一人ひとりの学生にゆきとどいた教育を行い、基礎学力の向上や人間力・実践力・創造力の養成に力を入れています。1年次には「教養ゼミ」、2年次には「トピックゼミ」、3年次には「プレゼンテーション演習・専門ゼミ、卒業研究1」、4年次では研究室での「卒業研究、卒業研究2」を行います。また、各学科で行われている学生実験も少人数教育を意識したグループ構成で実施されています。

3. 基礎知識・基礎技術の確実な修得

全ての学年のカリキュラムに、実験や実習・演習を多く設け、学生が自らの力で未知の分野の技術を開拓する応用能力の育成を図っています。

5. 学生の自立を促すキャリア教育

学生のキャリア形成につながる実践的かつ体系的なプログラムを実施しています。学生の自立心と高い志で学び続ける意欲を育成し、生涯にわたり着実なキャリアを形成していく力の向上を支援します。

2. 人間性豊かな技術者の育成につながるカリキュラム編成

1年次から専門教育を学習し、基礎学力と広い視野を同時に身につける“クサビ型カリキュラム”の導入により高学年次にも教養教育科目を開講し、豊かな人間性と幅広い視野を持った技術者の育成を図っています。

4. 学部・大学院を通じた連携教育体制の確立

学部・大学院(博士前期課程)の6年一貫教育を意識した体系的なカリキュラムを確立。大学院のMOT(技術経営)科目などを学部生にも開放し、より高度な職業人の育成に取り組んでいます。

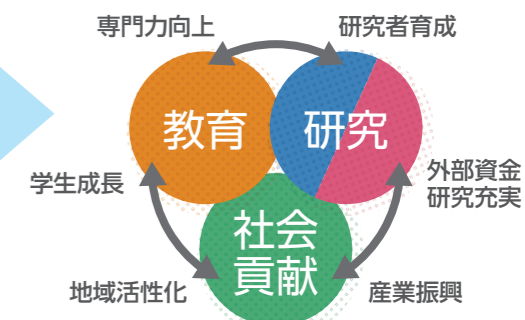
6. 体系的な環境教育プログラムの実施

持続可能な社会の実現に向けて、「環境への幅広い視野と倫理観」を備えた工学技術者を育成するため、導入教育から専門教育に至るまでの体系的な環境教育プログラムを実施しています。

理想の大学を富山に実現

藤井澄二初代学長は、MIT・東京大学・東京電機大学での経験をもとに「学生を大事にする大学」「地域社会に貢献し、世界に発信する大学」を創ろうと考えました。それから30余年、3学部9学科をもつ大学になりました。さらに、社会の持つ課題を解決し生活の質向上に貢献する大学、学生が専門性と社会課題解決能力を身につけられる大学に成長しています。

教育・研究・社会貢献の3使命を 実践し相乗の成果をあげる



入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)、教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)及び卒業時の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に基づいた教育体制により、学生の資質を大きく伸ばし社会に送り出すことをめざした先進的な大学です。

情報工学部

未来社会を創造するデジタルのエキスパートへ

1. データサイエンスの専門教育

データサイエンスとは、数学、統計学、機械学習、データマイニングなどの理論を用いてデータの分析や解析を行い、新しい価値を見出す学問分野です。情報工学部ではデータサイエンスに関する様々なカリキュラムを導入し、専門知識を習得した人材の育成を図ります。

3. デザイン思考による課題発見解決力

デザイン思考とは、利用者の潜在的課題を顕在化させ、仮説・検証を繰り返し試行することで解決策を発見しようとする思考法です。高度な技術開発を目指すだけでなく、この手法を身につけることで、これまでにない視点・柔軟な発想力、多様性を備えた、利用者の真の課題解決に取り組む技術開発者・研究者を育成します。

5. 人間性豊かな技術者の育成につながるカリキュラム編成

1年次から専門教育を学習し、基礎学力と広い視野を同時に身につける“クサビ型カリキュラム”の導入により高学年次にも教養教育科目を開講し、豊かな人間性と幅広い視野を持った技術者の育成を図ります。

2. 少人数によるゆきとどいた教育

少人数教育を中心に、一人ひとりの学生にゆきとどいた教育を行い、基礎学力の向上や人間力・実践力・創造力の養成に力を入れます。1年次には「教養ゼミ」、2年次には「デザイン思考」、3年次には「実践デザイン思考、プレゼンテーション演習、卒業研究1」、4年次では研究室での「卒業研究2」を行います。

4. 企業の技術者との連携授業

企業や官庁などで活躍されている方々を講師として招き、世の中の動きや経験、社会人になる前に身につけておくべき重要事項の講義を通じて、学生自身のキャリアの確立や職業観形成を支援します。

6. 学生の自立を促すキャリア教育

学生のキャリア形成につながる実践的なプログラムを、3年次に実施します。学生の自立心と高い志で学び続ける意欲を育成し、生涯にわたり着実にキャリアを形成していく力の向上を支援します。

看護学部

学生の看護力を最大限に伸ばします

1. 「自ら学ぶ力」を身につける

少人数によるグループ学習やアクティブラーニングなど、主体性を持って協力して課題に対応する学び方を多く取り入れます。また、豊富なeラーニング教材を用いて、学生が自ら学ぶ姿勢を支援します。専門的な知識・技術の修得はもちろん、物事を多様な観点から考察する能力や創造性を養います。

3. 工学・情報工学的な視点を「看護の世界」へ

看護学と工学を横断する連携科目を配置し、工学的視点を取り入れた“人にやさしい看護”を学びます。さらに、DXが進展する社会に対応するため、デジタル技術への理解や活用力といったデジタルリテラシーも身につけます。

5. さらなるステップアップの道へ

保健師・助産師を養成する「看護学専攻科」、看護学を深く探求する「大学院看護学研究科(博士前期課程・博士後期課程)」を設置しています。看護学部卒業後も、本学で継続して学びを発展させることができます。

2. 多様な実習の場で実践力をつける

先端医療を提供する富山県立中央病院をはじめ、県内の公的病院や訪問看護ステーション、様々な保健医療福祉施設で、地域に密着した実習を行います。あらゆる健康段階にある方に適切な看護ケアを提供するための実践力を身につけます。

4. 地域共生ゼミで地域の課題解決に向けて取り組む

1年次から「地域共生ゼミ」を通して、多様な視点から考え、創造し、表現する力を育てます。地域で暮らす人々との交流や、保健・医療・福祉の専門職からの学びを通して、地域に存在する課題とその解決策を探究します。

※カリキュラムについては変更となる可能性があります。

看工連携による新たな学び



看護学部では専門基礎科目の中に「安全と快適を支援する看護学・工学連携」という区分を設けて、看護学部と工学部・情報工学部の教員が合同で行う3つの必修科目を設けています。「看護ケアと工学」では、人々の生活を支援するための看護・介護ロボットの作用原理や、医療事故防止のためのセンサ技術などを学びます。「生活支援と情報工学」では、人々の健康を維持・増進するためのICT(情報通信技術)活用などに重点を置いています。「先端医療論」では、医療診断技術、遺伝子治療、医療材料・機械デバイスなどの先端技術と、富山県立中央病院の医師・看護師による手術ロボット「ダヴィンチ」を中心に低侵襲手術やスーパーICUにおける治療の講義から、先端医療における看護の役割などを学びます。このように、看護学に工学的視点を取り入れることにより、「経験や勘」に頼る部分も多い看護ケア技術を、工学の力を使って「見える化」し、論理的に学びます。

▼ 研究例

機械システム工学科

定員60名

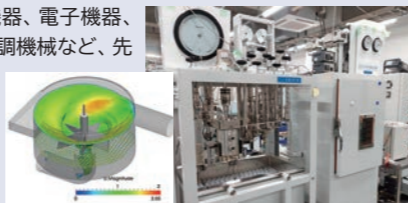


- 水車の高効率化など自然エネルギー有効利用に関する研究
- 生体や電子情報機器を構成する固体材料の疲労強度や衝撃強度等に関する研究
- 設計支援システム・評価シミュレータの開発
- 自己修復性、高放熱性などの高機能を有する複合材料、バイオマスを用いた新しい複合材料の開発など

▼ 講座例

熱流体工学講座

宇宙ロケット、医療機器、電子機器、コンピュータ、冷凍空調機械など、先端機器における各種エネルギーの変換や流れの力学に関する研究に取り組んでいます。



電気電子工学科

定員45名



- ホール効果測定やデバイスシミュレーションにより、SiCパワーデバイスの性能を制限している欠陥の正体を明らかにする研究
- マルチスペクトル・イメージセンサの創出と機械学習による可視化の研究など

電子デバイス工学講座

半導体集積回路、機能性電子デバイス、センサデバイス、パワー半導体デバイス等のデバイス作製に関する材料・技術の開発や、電子回路やシステムに関する研究を行っています。



環境・社会基盤工学科

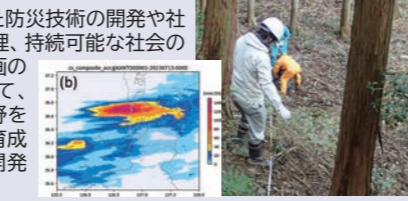
定員55名



- 産業廃棄物や災害廃棄物の発生、移動、処分状況の把握と処理技術の開発
- 洪水や津波などの河川・海岸災害による被害を予防するための理論と技術(シミュレーション)など

社会基盤工学講座

大規模災害に対応した防災技術の開発や社会基盤施設の維持管理、持続可能な社会の形成に向けた地域計画の立案を主な対象として、新しい視点と広い視野を持った建設技術者の育成を目的とした研究・開発に取り組んでいます。



生物工学科

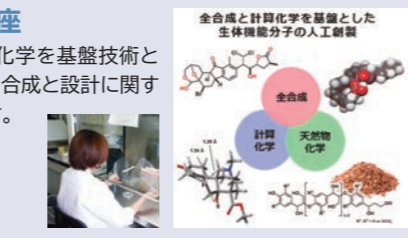
定員40名



- 医薬品および食品成分の代謝に関する酵素の構造と機能の解析およびその応用
- 食品成分の生理作用メカニズムの解明と機能性食品の開発
- モデル生物を用いた生殖機能及び寿命の制御シグナルの解析など

生物有機化学講座

有機合成化学と計算化学を基盤技術とした、生物活性物質の合成と設計に関する研究を行っています。



医薬品工学科

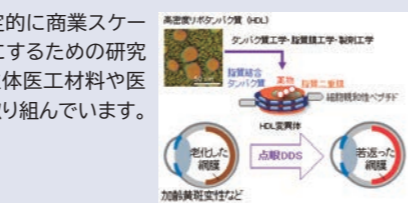
定員35名



- 有機合成化学を基盤とした、医薬品やその原料となる天然物の合成研究
- 生物情報学や生物物理学・分子生物学の手法を用いたペプチド医薬や新規医薬品製造酵素の設計と合成など

製薬化学工学講座

医薬品を、安全、安定的に商業スケールで生産できるようにするための研究や、新しい医薬品・生体医工材料や医療デバイスの開発に取り組んでいます。



データサイエンス学科

定員40名



- 報酬駆動型システムにおける設計と最適化
- 視覚障がい者が一人で図を描画できることを目的とした新しいグラフィックス言語開発による知的なWYSIWYG型描画支援システム開発など

システム数理学講座

システム情報の処理・利活用のためのデータ応用技術や数理にもとづいた先進・融合的で汎用的なデータ分析基盤の研究を行っています。



定員120名

1 地域共生ゼミⅠ～Ⅳ

少人数形式で行うグループ学習により、看護の場で自分の考えを組み立て、発言できる基礎能力を養います。この科目は、工学部教養教育センターの教員と看護学部の教員が担当します。主体的な情報収集の方法、ディスカッションやプレゼンテーションの技術を学び、地域の課題や対策について多角的に探求する力、さらにコミュニケーション能力や表現力を高めることを目指します。

2 看護ケアとユマニチュードⅠ～Ⅲ

ユマニチュード(Humanitude)®は、フランス発祥の知覚・感情・言語によるコミュニケーションに基づいたケア技法で、医療の現場でも大変注目されています。1年次から「ユマニチュードの技法」を取り入れた看護ケアを学びます。

3 フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ

バイタルサイン(体温・脈拍・呼吸・血圧などの基本的な身体指標)と、視診・触診・聴診などで身体を評価するフィジカルイグザミネーションの基本的技術を学びます。これらを身につけることで、病院や訪問看護や地域保健など多様な場で人々の健康状態を正確に把握し、適切なケアにつなげるためのアセスメント能力の向上を図ります。

4 看護ケアと工学

看護学・工学連携科目の一つで、工学部・情報工学科・看護学部の教員が講義を担当します。看護ケアが患者・看護師の身体や心にどのような影響を与えるかを、看護学・工学・情報工学の視点から学び、人に優しい看護ケアについて考えます。

5 多職種連携論

チーム医療における多職種の機能や専門性に加え、看護の役割について学びます。また、ケアの受け手となるひとや在宅医療、地域包括ケアシステムに関わる多職種をつなぐマネジメント力と、連携・協働できるネットワーク能力を育成します。



ユマニチュードが学べる!

1年次から、絆を築くケア技法の「ユマニチュード®」を体系的に学び、高い看護ケア能力を身につけます。これは日本の看護学部では初めての実践です。ユマニチュードはイヴ・ジネスト氏らが創始し、東京医療センターの本田美和子医師が日本に導入した画期的なコミュニケーションケア技法です。知覚・感情・言語によるコミュニケーションに基づいた包括的ケア技法で、医療の現場でも大変注目されています。攻撃的だった認知症の高齢者が穏やかになったり、発達障がいのある子どもへの効果など、科学的検証にも取り組んでいます。

本学では、ユマニチュードの哲学や技法について集中研修を受けた教員がリーダーとなり、ユマニチュードの教育の充実を図っています。

※カリキュラムについては変更となる可能性があります。

情報システム工学科

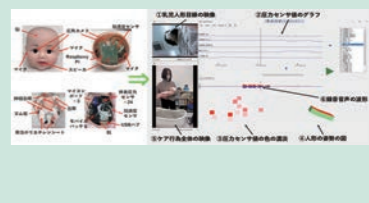
定員60名



- 人間の行動を取得するためのセンサ技術やコンピュータ利用技術、その情報を集約するためのネットワーク技術を基本技術として、先進的なソフトウェア応用技術を用いることで、様々な分野に利用できる情報システムの開発など

情報基盤工学講座

センサ利用技術・ソフトウェア応用技術を利用した高度な情報システムや、人の行動や活動の認識・変容技術、3次元情報取得などの高度な映像処理・表示技術に関する研究を進めています。



知能ロボット工学科

定員60名



- リハビリ/看護/福祉などへロボットや生体情報処理技術を応用する研究
- 人に代わって、航空機部品や自動車部品などを加工する自動生産システムの開発とその要素となる精密加工技術に関する研究など

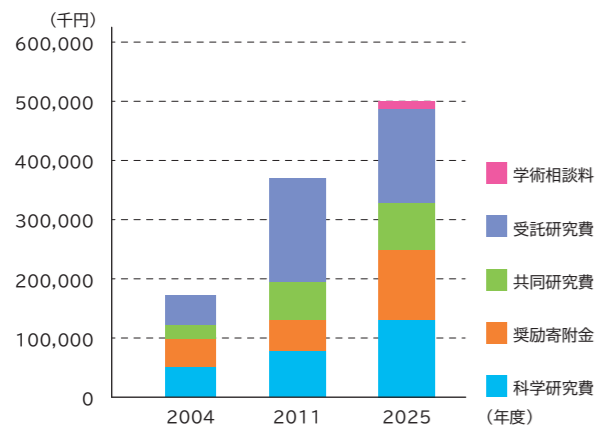
知的インタフェース工学講座

視覚・聴覚・音声・ジェスチャなど、人の柔軟で優れた情報処理を解明し、コンピュータやロボットを人のように賢くするインタフェースの研究を行っています。



世界の先端技術に挑む受託・共同研究等 世界や地域に貢献する研究拠点として

■本学先端研究への評価と期待 外部資金が大幅増加

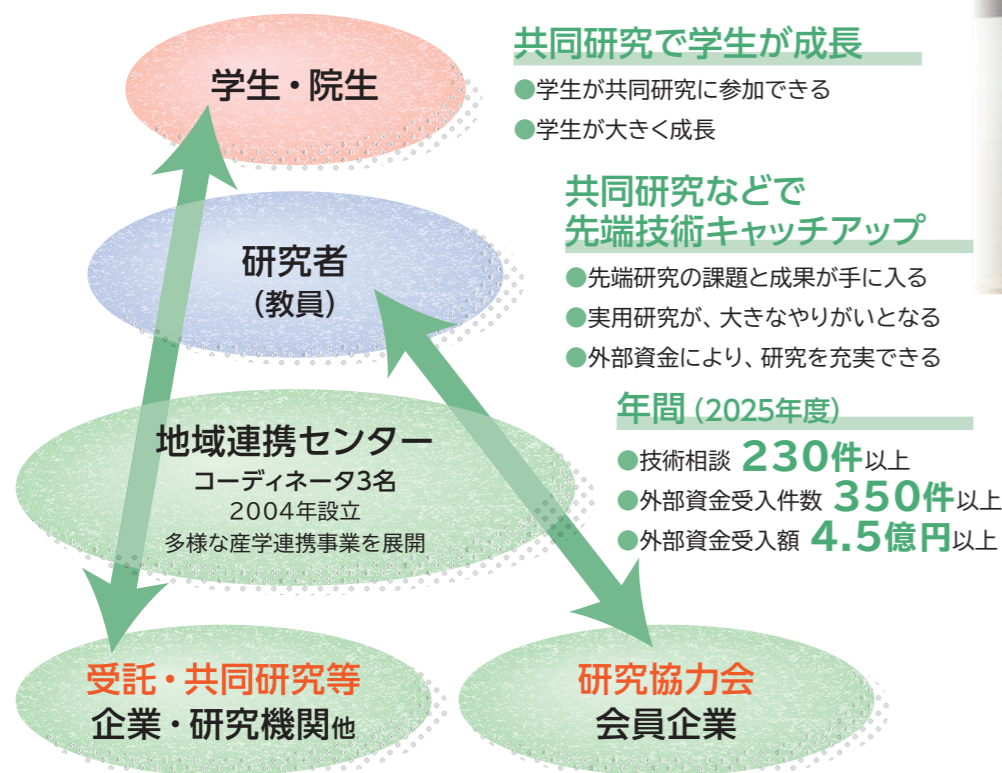


受託研究、共同研究など、本学の先端研究への期待は高く、2025年度は国内外の大学・機関・企業等から350件以上、4.5億円以上の外部資金を受け、先端研究開発の充実はもちろん、院生の国際会議発表の旅費にも充てています。

中でも、受託研究費は、20年間で約2倍以上に伸びており、本学の研究力の高さを示しています。

■産業振興とともに、先端研究や教育に成果

- 教員の先端研究の推進や、学生の教育の向上に大きな成果が生まれる
- 企業や研究機関、自治体やNPOなど、社会に大きな貢献ができる



共同研究で学生が成長

- 学生が共同研究に参加できる
- 学生が大きく成長

共同研究などで 先端技術キャッチアップ

- 先端研究の課題と成果が手に入る
- 実用研究が、大きなやりがいとなる
- 外部資金により、研究を充実できる

年間(2025年度)

- 技術相談 **230件**以上
- 外部資金受入件数 **350件**以上
- 外部資金受入額 **4.5億円**以上

共同研究などを通じ、
本学の研究者や学生は、
先端技術の研究に常に
関わることになるのじゃ。



企業・研究機関のメリット

- 大学研究者などの成果活用
- 企業の研究の向上

富山県立大学には、大変お世話になっています。自社だけでは解決が難しい課題も、各分野の専門研究者に相談でき、共同研究できる体制が整っているのは有難いですね。卒業生も優秀で当社の大きな戦力です。(企業研究者)

研究協力企業のメリット

- 企業研究者が、産学連携し、
- 研究開発ニーズや情報を交換する交流会
- 異業種企業と大学によるテーマ別研究会
- 技術者向けセミナーなど

【研究協力会法人会員】

- (発起人のみ) 全240社 2026年3月末現在
- ㈱インテック ● 富士フイルム富山化学㈱富山第一工場 ● 協和ファーマケミカル㈱
 - ㈱不二越 ● コーセル㈱ ● 北電情報システムサービス㈱ ● ㈱スギノマシン
 - 北陸電力㈱ ● 立山科学㈱ ● ㈱リッチェル ● 田中精密工業㈱ 他

情報工学研究棟



2024年4月の情報工学部の新設に伴って整備を進めてきた新校舎「情報工学研究棟」が完成し、2026年4月から本格的に供用を開始しました。

同棟には、情報工学系の学部や大学院が使用する演習室、研究室などのほか、産学官連携でグリーン・トランスフォーメーション(GX)による課題解決策を研究する「グリーン×AI教育研究拠点」が設けられています。

また、富山県立大学では初となる太陽光パネルを屋上に設置した校舎で、建物内で使用する電力の一部を賅っています。

地域協働授業

各年次の少人数制必修ゼミにて、教員ごとに異なる様々な地域テーマに取り組んでいます。

滑川市役所 × 清水教養ゼミ

バイエリアの賑わい創出に向けて、フィールドワークを経て企画立案した解決策を市長に提案しました。



エフエムいみず × 井戸教養ゼミ

地元のラジオ局と協働し、年末の特別音楽番組の企画制作を続けてい



小学校(射水市) × 岩井専門ゼミ

射水市内の小学校で、ドローンを使ったプログラミング体験教室を行



なんとSDGsパートナー × 中村(秀)専門ゼミ

南砺市と協働し、市内でSDGsに取り組む企業や団体を取材し、Web



富山県立大学に入学してよかったと思うこと(在学生に聞く)

県大に入ってここが良かったと思う点は?

機械システム工学専攻 大学院1年生
富山県 | 滑川高校出身

就職活動のサポートがたいへんに手厚いことです。各学科・専攻科を卒業した先には、どのような仕事の選択肢があるかの紹介に始まり、企業選びのポイントや就活での準備の優先順位、また企業説明会や先生からの企業紹介、ゼミでの企業見学等々、豊富な就活支援があります。学生は充実した就職活動を行うことができ、その結果、就職率は非常に高くなっています。

富山県立大学を志望した理由は?

生物工学科 3年生
富山県 | 砺波高校出身

私の出身校では、いろんな大学に進学した先輩を招いて、その大学を紹介する会を開いています。そこで県大進学者の話や就職支援が充実していることを話され、そこに魅力を感じました。また私は、工学的な視点から生物学を学ぶことに興味があり、生命現象を応用して食品づくりや医薬品の開発などを行うことに多くの可能性があると思い志望しました。

今どんな研究に取り組んでいますか?

情報システム工学科 大学院1年生
富山県 | 高岡工芸高校出身

ブロックチェーン取引に関する研究に取り組んでいます。わかりやすくいうと、例えば、暗号資産や仮想通貨の取引の仕組みづくりです。その取引ははすでに行われていますが、簡潔な仕組みやその高速化、また不正な取引を検知してその実行を防ぐためのシステムなどを考案しています。先端的な取り組みですから、非常におもしろいです。

今どんな研究に取り組んでいますか?

電気電子工学科 大学院1年生
富山県 | 小杉高校出身

私が所属する研究室では、観測用ロケットを飛ばして各種のデータを取ったり、観測を行ったりしています。飛行中に計測したデータは地上にすぐに送信され、それをパソコンのディスプレイに表示するようになっていますが、私はそのアプリの改良に取り組んでいます。わからないことは先生にとことん聞くことができ、研究開発の醍醐味を味わっています。

将来の夢は?

医薬品工学科 大学院1年生
愛知県 | 中村高校出身

私は、化学が得意だったことから医薬品に関心を持ち、大学に入ってから、製薬や新薬開発に興味を持つようになりました。学部・大学院を通してさまざまな実験や研究に携わり、その成果を考察などを行ってきました。大学院修了後は、そうした経験を生かして製薬会社の研究職に就き、薬の製法の改良や新薬開発に取り組みたいと思っています。

富山県立大学を志望した理由は?

知能ロボット工学科 大学院2年生
新潟県 | 糸魚川高校出身

ものづくりやロボットに関心があったことから、志望校は、知能ロボットやロボット工学に関する学科のある大学を中心に検討しました。いくつか候補があった中で県大を志望したのは、大学案内に「少人数教育を実施している」とあったからです。実際、講義やゼミは少人数で行われ、先生との距離が近くて質問もしやすく、本学には勉強しやすい環境があります。

富山県立大学を志望した理由は?

環境・社会基盤工学科 大学院1年生
岐阜県 | 関高校出身

家の間取りについて考えることが好きだったので高じて、建設・建築に関心を持つようになりました。それでその分野の勉強をしたいと思い進路を真剣に考えた際、環境保全も合わせて学ぶことのできる富山県立大学に魅力を感じました。また県大が実施している少人数教育は自分に合うと思いました。

富山県立大学を志望した理由は?

データサイエンス学科 2年生
新潟県 | 国際情報高校出身

ITや情報処理、プログラミングなどに幅広く関心があり、その中からさらに自分が興味を持った分野を深く学びたいと思い、進学先を検討しました。県大の大学案内に紹介されていたデータサイエンス学科のカリキュラムや将来の進路は、私が希望していたものにぴったりでした。情報処理を幅広く学びながら、自分の得意分野を極めていくにはよい学科だと思います。

富山県立大学を志望した理由は?

看護学科 4年生
新潟県 | 高田高校出身

本学の看護学部で、認知症などコミュニケーションが取りにくい方へのケア技法である「ユマニチュード®」を学ぶことができると興味を持ち志望しました。考案者のイヴ・ジネスト先生の特別講義も受講でき感激しました。実習に出てそのケア技法で臨むと、穏やかに答えてくれる患者さんが多く、「ありがとう」といっていたのでうれしくなります。